

サークル名

人形劇団 どんぐりコロコロ

サークルのアピールポイント

人形劇が子どもの成長のきっかけになってほしい

人形や舞台など、劇で使うもの全てが手づくりです。セリフも録音ではなく、生の声で行っています。目の前で演じられる人形劇をぜひ観てほしいです。



代表者 谷口かよ子さん

パパ・ママへのメッセージ

子どもは、親が何を思い、どう感じているのかに敏感に反応します。ですからお母さんは、こういうサークルでリラックスしてください。子育てには父母仲良くが一番です。お父さんも子どもを抱きしめてあげてください。

活動内容

- 人形劇
- エプロンシアター
- 読み聞かせ など

サークル情報

設立日	平成12年12月
代表者	谷口かよ子さん
活動日時	①第4土曜日 午後2:00～ ②毎月第1・第3月曜日 午前10:30～
活動場所	①高岡市立中央図書館 ②高岡市ふれあい福祉センター (その他相談の上、県内各地)
会費	●観覧無料 ●スタッフ月会費 500円
会員数	●スタッフ7名 ●参加者数:会場ごとに変動

活動事例

人形劇

三びきの子ぶたオリジナルストーリーやエプロンシアターなど、子どもたちに楽しんでもらえるような舞台づくりをしています。



人形とふれ合えるよ

手づくりの優しさを大切に

人形劇のポスターやスタンプカード、名札などを手づくりしています。



サークルスタッフの声

きっかけ・良かったこと

- 人形劇を通して子どもに優しさを伝えたいと思い、始めました。
- お礼の手紙には、うれしくて返事を書きます。
- 「はらぺこあおむし」の人形劇を見て、その絵本が好きなになったと聞いた時には感激しました。
- たまたま街中で出会った時に、「人形劇の…」と声を掛けられてうれしくなります。

活動を続ける工夫

- 人形劇が子どもの成長のきっかけになってほしいと真剣にやっていることです。
- スタッフ1人ひとりの気持ちを尊重し、それぞれ活動可能な時間を把握して参加できるスタッフの数によって演目を調整します。
- 行政も含めた周りの宣伝や口コミによる協力で、自分たちの活動を知ってもらうことです。その上で、上演の依頼を受け続けることだと思います。

これからやってみたいこと

- 今までは上演依頼を待つだけでした。今後は、高岡市内の児童館、保育所、学童保育に演目のわかる資料を配布し、上演の数を増やしたいと思っています。

代表者 谷口かよ子さん



参加者の声

参加のきっかけ、良かったこと

- 子どもに人形劇を見せたくて参加しました。
- 録音や録画を使うのではなく、実際に人形を操りながら歌っているため、より楽しさが伝わります。
- 家でも読み聞かせはしています。でも、人形劇の方が物語の筋が理解しやすく、また楽しさも伝わっているようです。

参加者 M.Mさん

